

校内研修計画

山梨市立日下部小学校

1 学校課題

本校では、長年の継続研究(学級力向上や ICT 活用など)の成果として、全体的に落ち着いて生活・学習することができる児童が多い。また、3年前にリーディング DX スクールの事業指定を受け、意欲的に取りくんだことにより、職員全体で ICT を活用する意識が向上し、授業づくりに積極的に活用している。

一方で、児童が自ら学習方法を選んだり、学び方を選んだりしながら、授業の中で他者と協働し意欲的に学習に取り組むためには、児童が学びの主体となる授業づくりにより一層取り組んでいく必要がある。また、児童が安心して学びあうことができる環境を整えていくことを目的に、学級力の向上に向けた取り組みも継続して行っていく必要がある。

2 研究主題

学び続ける児童の育成

～他者との関係性を深め、表現する力・自ら学びを充実させる力を高める～

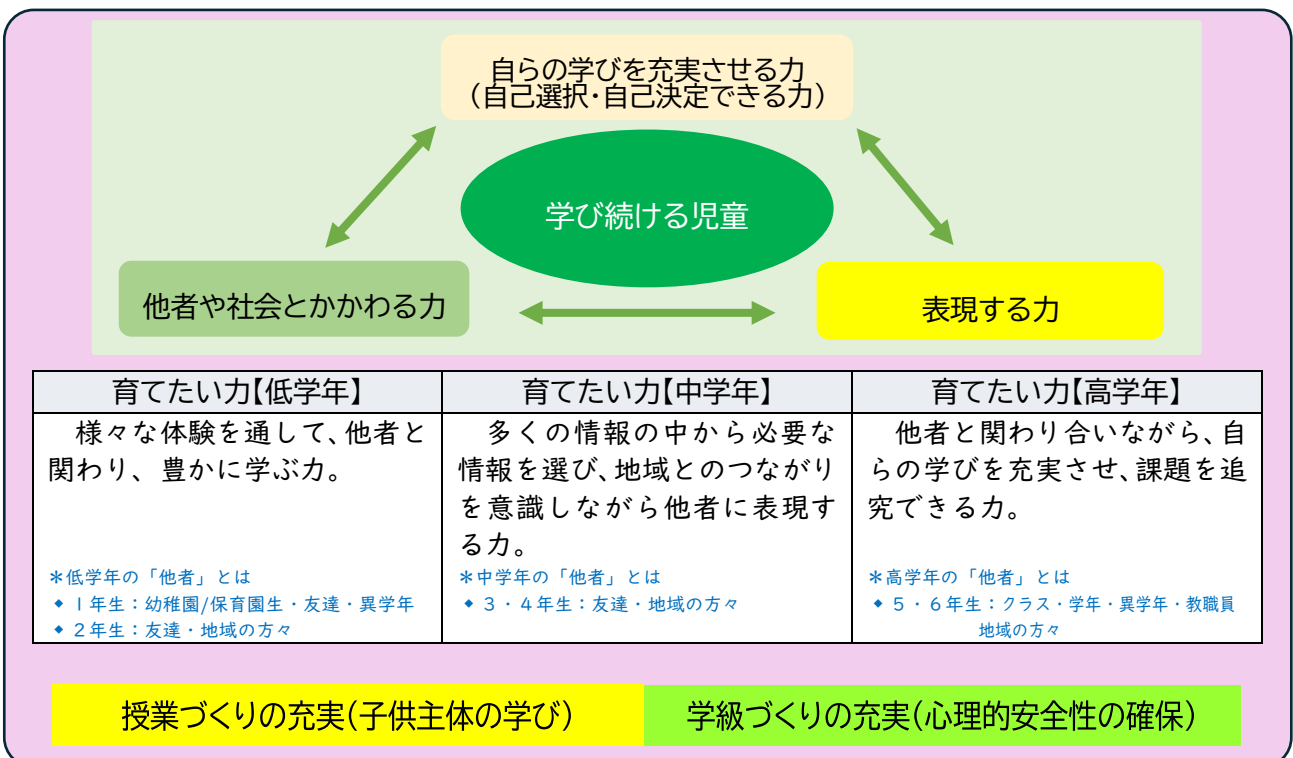
3 主題設定の理由

昨年までの2年間、本校は低中高学年ブロックにおいてそれぞれ研究を進めてきた。各ブロックにおいて、研究主題である「学び続ける児童」の実現に向けた独自のテーマを設定して研究に取り組み、成果を上げてきている。低学年ブロックは、「感じ、考え、試し続ける授業づくり」、中学年ブロックは、「子どもの興味をかきたてる 楽しい授業づくり」、高学年ブロックは、「学びのサイクルを生かした授業づくり」を、テーマに授業実践・研究を進めた。

今年度は授業時数特例校の指定校となる。ブロックごとに身につけさせたい力などを明確にし、カリキュラム・マネジメントを行っていく。低学年は他者や社会とかかわる力、中学年は表現する力、そして高学年は自らの学びを充実させる力を意識した授業づくりを行うことで、学び続ける児童の育成につながると考える。また、授業づくりと両輪で、学級づくりも充実させることで、児童同士のつながりを深め、児童の心理的安全性を確保することも不可欠であると考ええる。

4 研究の構想図

～学年ブロックごとに育てる力～



～育てたい力を伸ばすためのカリキュラム・マネジメント～

低学年	中学年	高学年
1年生：国語(一3)➡生活(+2)、音楽(+1) 2年生：国語(一4)➡生活(+2)、音楽(+2)	3年生：社会(一3)➡国語(+3) 4年生：社会(一3)➡国語(+3)	5年生：国語・家庭科(一1)➡総合(+2) 6年生：国語(一1)➡総合(+1)
増やす教科の単元名	増やす教科の単元名	増やす教科の単元名
1年生 ・きせつと なかよしーあきー(生+2) ・どれみと なかよく なるう(音+1) ⇒園児との交流会での関わり方 2年生 ・まちが大好きたんけんたい(生+2) ・ようすを思いうかべよう(音+2) ⇒音楽しゅう会のはっぴようの話合い	3年 ・もっと知りたい友だちのこと(+1) ・こんな係がクラスにほしい(+2) 4年 ・聞き取りメモのくふう／話し方や聞き方から伝わること(+1) ・クラスみんなで決めるには(+2)	5年 ・米作りをしよう(+2) 6年 ・SDGs YAMANASHI(+1)
マネジメントした意図	マネジメントした意図	マネジメントした意図
国語科で学んだ話す力・聞く力・伝え合う力を基に、生活科や音楽科の学習の中で、実践的な表現力を伸ばしたい。	自分の考えを伝える一番基本的な方法である「話す」ことに重点を置き、カリキュラムを編成することで、「表現する力」をはぐくんでいけると考える。国語科で習得した力を活用して、地域とのつながりを意識して表現できるようにしていきたい。	「総合的な学習の時間」の長期的な単元構成の中に、【選択】、【協働】、【社会との接点】を位置づけ、児童自らが主体的に探究する力を身につけさせる。学習内容を教科横断的に関連付け自己調整力や社会参画への意識を育成したい。

5 具体的な研究の取組

- ① 授業づくり(子ども主体の学び)
 - ・授業時数特例校で増加した単元・学習内容の実践・振り返り
 - ・低中高のブロックごと、育てたい力を意識して、教科・単元・学習内容を選択し、学期ごとに実践・振り返り
- ② 学級づくり(児童の心理的安全性の確保)
 - ・学級力向上プロジェクトやQUの活用
 - ・朝の会、帰りの会、学活、など様々な場面で関係づくりができる場面の設定、情報共有(OJT)
 - ・様々な職員による日々の学習面や生活面での子どもたちの関係性を見取り、情報共有

6 年間研修計画

山梨市立日下部小学校 令和8年度 研究計画		
第1回	4月 8日(水)	○研究の方向性 研究内容・計画等について 初任者研修授業研修会について説明
第2回	4月15日(水)	○研究内容・計画等の決定 ○ブロック研究会①(今年度の方向性)
第3回	5月27日(水)	○ブロック研究会②(授業づくり・学級づくり計画)
第4回	6月3日(水)	○ブロック研究会③(授業づくり・学級づくり計画)
希望者	6月10日(水)	特別研修会I(オンライン) 子どもたちが学びの主体となる授業づくりについて
第5回	7月 1日(水)	○ブロック研究会④(授業づくり・振り返り・今後の方向性)
第6回	7月 8日(水)	◎全体会 各ブロックの進捗状況の共有
第7回	8月 19日(水) (夏季休業中)	○QU学習会
第8回	9月 2日(水)	◎全体会 各ブロックの進捗状況の共有・今後の方向性
第9回	10月14日(水)	○ブロック研究会⑤(授業づくり・振り返り・学級づくり計画・分析)
第10回	10月21日(水)	○ブロック研究会⑥(授業づくり・振り返り・学級づくり計画・分析)
第11回	10月28日(水)	◎全体会 各ブロックの進捗状況の共有・今後の方向性
第12回	11月18日(水)	○ブロック研究会⑦(育てたい力を伸ばすためのカリキュラム・マネジメントの評価)
第13回	11月25日(水)	○ブロック研究会⑧(育てたい力を伸ばすためのカリキュラム・マネジメントの評価)
第14回	12月 9日(水)	◎全体会(今年度のまとめ①) ・ブロックごとの成果と課題の共有 ・全体を通して成果と課題の検討
第15回	1月27日(水)	◎全体会(今年度のまとめ②) ・成果と課題の共有 ・授業時数の検討
第16回	2月24日(水)	◎全体会(次年度の方向性①) ・育てたい力、授業時数、マネジメントした意図の検討
第17回	3月 3日(水)	◎全体会(次年度の方向性②) ・研究主題、副主題の検討 ・1年間のまとめ

(研究主任 望月 蛸)